

国際ユース作文コンテスト

大谷さん喜びの優秀賞

途上国への思いつづる

ユネスコ創設70周年記念事業2015年度(平成27年度)国際ユース作文コンテスト(公益財団法人五井平和財団主催)の「若者の部」で、室蘭・海星学院高校2年の大谷優生さんが優秀賞に輝いた。文部科学大臣賞(最優秀賞)に次ぐ世界2位の快挙に大谷さんは「協力してくれた家族や友人、先生に感謝したい」と喜んでいいる。

(池田勇人)

同コンテストは、文部科学省や日本ユネスコ国内委員会などが後援。若者や子どもたちが平和について考えるきっかけづくりとして毎年開催している。本年度は「心の中に平和を築く」がテーマ。若者の部と子ども部の間に、148カ国から1万2960作品の応募があった。

大谷さんは高校1年のときに、ユネスコ憲章前文にある「人の心の中に平和の

とわでを築かなければならない」という言葉に出合った。カンボジアを訪れ、約30年前に勃発した内戦で手足を失った人や、貧困で苦しむ子どもたちと交流。帰国後、「心のとりでは人のために行動すること」と気付き、発展途上国への支援活動が始めるまでを文章にしたためた。

大谷さんは「日本は客観的に見ると豊かな国だが、国民にとっては実感が薄

室蘭・海星学院高校2年



い。一方、カンボジアの人々は家族に何かできることに対して幸せを感じている」とささいな日常に感謝する大切さを強調する。

市川栄作教諭は「大谷さんの中で発展途上国支援に対する考えや価値観が定まっている。人間性が評価された結果」と教え子の努力

表彰状を手に国際ユース作文コンテスト優秀賞受賞を喜ぶ大谷さん
をたたえていた。